

# 「四国コンテンツ映像フェスタ2019」上映審査会・表彰式を開催

## 《地元を、四国を想う気持ち満載！四国を元気にする映像作品のコンテスト》

四国総合通信局(局長:川村 一郎(かわむら いちろう))は、四国情報通信懇談会(会長:泉 雅文(いずみ まさふみ))四国旅客鉄道株式会社取締役会長との共催により、令和2年2月4日(火)高知市において「四国コンテンツ映像フェスタ2019」上映審査会及び表彰式を開催し、62名が参加しました。

「四国を元気にする！～来て見て知って四国～」のテーマのもと、今年で13回目の開催となる当フェスタは、人材育成の促進と制作活動を通じた地域の価値や魅力を再発見することを目的に、地域のデジタル動画コンテンツ制作者に作品発表の場として開催しており、今回も80作品ものすばらしい作品を応募いただきました。

当日は、講演会、上映審査会及び表彰式の三部構成で行い、第一部では、高知県出身で、高知県東部の自然や遺産などを中心に4K撮影した映像を使用し、企業CMや地域プロモーション映像制作を手がけられている(株)東京映画社代表取締役社長 百々 立夫氏を講師に迎え、「地域、地元の魅力は、地元の人が発信していくことが大事である。地域に根ざした映像を収集できるという『地元の特権』を活かし、地域の魅力を、地域の人が親身になって丁寧に作り上げた作品を全世界に投げかければ、地域活性化につながっていく。」とご講演いただきました。

百々氏は、「四国全体を映像で盛り上げられたらこんなに素晴らしいことはない。」と締めくくられました。

第二部は、「小・中学生」、「アマチュア」及び「プロ・セミプロ・自治体」の部門別にノミネートされた18作品を上映し、制作者による作品のPRや審査員による講評を行う上映審査会、第三部は「最優秀賞」、「優秀賞」、「特別賞」、ゲスト審査員の百々氏が選んだ「審査員特別賞」の表彰式を行いました。

受賞者からは、「他の受賞者の方々と本当に良い出会いとつながりが生まれた。」「賞を頂くことができ感謝すると同時に制作して良かったと思った。」、参加者からは、「映像制作をしてみたいと思った。」「受賞作品に何度も心を打たれた。ぜひ多くの方に視聴していただきたい。」「作品の質の高さ・・・習うことが多かった。」などの感想が寄せられ、講師が講演会の中で語られた「地域の魅力を、地域の人が親身になって丁寧に作り上げた映像作品」の素晴らしさを実感する機会となりました。

四国総合通信局では今後も地域の魅力を発信する映像コンテンツに着目し、映像による地域コンテンツの効果的な発信力を身につけることを目指した映像制作研修会の開催、地域の魅力をPRする動画を所有している自治体への応募の働きかけによる作品の掘り起こし等を行い、人材育成や地域活性化に取り組んでまいります。



### 【第一部 講演会】

演題：地域に根差した映像づくり  
～地方で映像制作に取り組むことの意義～

講師：(株)東京映画社 代表取締役社長  
百々 立夫(とど たつお)氏

### 【第二部 上映審査会】

ノミネート作品の上映、制作者によるPR及び  
審査員による講評

### 【第三部 表彰式】

最優秀賞、優秀賞、特別賞、審査員特別賞の表彰

### 最優秀賞作品



【小・中学生部門】  
「発見！久万高原町の新百景」  
久万中映像制作班 様



【アマチュア部門】  
「四国遍路を周り終えた外国人の感動を、  
あなたにも！」  
片岡 秀子 様



【プロ・セミプロ・自治体部門】  
「あるある直島」  
福島 真希 様

### 審査員特別賞作品



「トマトの旅立ち～a story of YUSUKAWA～」  
遊子川地域活性化プロジェクトチーム 様

★ 受賞した18作品をすべてご覧いただけます →→→ 四国情報通信懇談会コンテンツ部会のHP [https://www.shikoku-ictcon.jp/?page\\_id=5759](https://www.shikoku-ictcon.jp/?page_id=5759)